

中学校国語科における

「主体的に学習に取り組む態度」の見取り方の研究 — 「見取り方例シート」の開発を通して —

長期研修員 新井敏弘

研究構想図

「主体的に学習に取り組む態度」を評価できる中学校国語科教師

評価の「見取り方例シート」

教師によるシートの活用

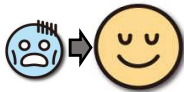
領域	思考力、判断力、表現力等の領域 (学習指導要領)
指導事項	例示
言語活動	例示
「単元名」 (めあて)	例示

1. 主な活動内容 例示

2. 学習計画 (○数字は見取る場面)

- (1)
- (2)
- (3)

例示



どう評価していくか!
「指導と評価の
一体化」

納得!!

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

単元全体の評価規準例

(キーワード「粘り強さ」「学習調整力」)

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点 (生徒に与える視点) 「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
振り返りの評価場面	振り返りで見取る評価規準例	振り返りで書かせたい視点 書けない生徒への支援例
振り返りの評価場面	振り返りで見取る評価規準例	振り返りで書かせたい視点 書けない生徒への支援例

指導に生かす見取り

記録に残す見取り

- ・学習計画の作成
- ・評価計画の作成

シートは単元計画の作成に使える

授業時「指導と評価の一体化」
・指導に生かす見取り

シートで生徒の状況を把握する

シートの活用

授業時「指導と評価の一体化」
・記録に残す見取り

シートで「主体的に学習に取り組む態度」を見取り記録する

授業後

- ・単元の総括的な評価
- ・つながる単元への見通し

把握した生徒の実態を次の関連単元へ生かす

教師の現状



- ・「主体的に学習に取り組む態度」をどう評価していくか?
- ・「指導と評価の一体化」?
- ・「粘り強さ・学習調整力」?
- ・今までの「関心・意欲・態度」との違いは?

見取り方例シート

見取り方例シートの構成

「主体的に学習に取り組む態度について」



名称について

学びに向かう力・人間性等

評価の考え方

評価方法

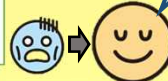
振り返りに

シートの目次 (インデックス)

見取り方例シート

インデックスの単元名をクリックすると、該当の見取り方例シートにジャンプ!!

「粘り強さ」!
「学習調整力」!
今までの違い!



納得!!

実践授業から

「時間まで生討論！私たちの街を活性化するには」
〔思考力、判断力、表現力等〕A話すこと・聞くことイ

シートを活用して指導案を作成

- 1 単元の見取り
- 話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(1)オ
 - 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ア
 - 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)イ
 - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合うとする。「学びに向かう力、人間性等」

- 2 本元における言語活動
- 街の活性化のために考えたことについて議論や討論をする活動。
(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕A(2)イ)

「3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ	①目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア ②自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ	①「街を活性化」させるためのアイデアについて、根拠の適切さや論理の展開について粘り強く工夫して話の構成を考え、相手に納得してもらうため、見通しをもって、予想される反論や根拠を基に話の構成を考えている。

【単元の流れ】 「2. 学習計画」

時	過程	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	つかむ	○司会者、提案者等の役割を決めて討論会を行うことを知り、学習の進め方について見通しをもつ。 ○街を活性化させるためのアイデアを考え、根拠や根拠に関連する具体的な体験や出来事について材料を集める。 ○材料を整理しながら話す内容を検討する。	〔思考・判断・表現〕① ワークシート ・提案するアイデアを決め、その根拠や具体的な経験等、話す材料の整理と反論の検討。
2	追究する	○「人」「自然」「行事」などで分類してグループを作る。 ○討論会の見通しをもった上で材料の吟味、取捨選択についてグループごとに話し合う。	〔主体的に学習に取り組む態度〕① 振り返り(ノート) ・聞き手により説得力をもたせるための表現や構成の検討。 〔思考・判断・表現〕① ワークシート ・提案するアイデアの決定と内容や材料の検討。
3		○予想される質問や反論について、個別に考える。 ○予想される質問や反論についてグループで話し合いながら、発表メモを作る。 ○他グループの提案について質問や反論をグループで話し合う。	〔主体的に学習に取り組む態度〕① 振り返り(ノート) ・聞き手を納得させるための答え方の検討やメモの準備。 〔思考・判断・表現〕② ワークシート ・異なる立場での反論の想定と、反論に対応できる構成の再検討。
4	まとめる	○交代で司会者、提案者の役割を決めて討論会を行う。 ○自分や相手の主張の明確さ、より納得させるための話の構成について振り返る。	〔知識・技能〕① ワークシート ・話の構成や展開。 〔思考・判断・表現〕② ワークシート ・聞き手を納得させるための適切な根拠や論理の展開の検討。

見取り方例シート 「1」
…見取り方例シートを活用した部分

見取り方例シート 「2. 学習計画」
指導と評価の計画(4時間)

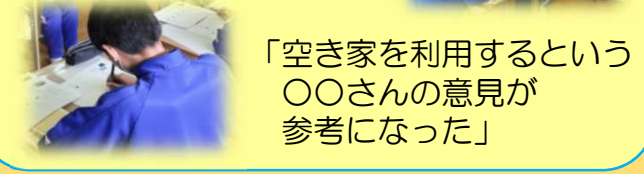
時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	司会者、提案者等の役割を決めて討論会を行うことを知り、生徒が学習の進め方について見通しをもった上で提案するアイデアを決め、その根拠について材料を集める。	〔思考・判断・表現〕①	ワークシート
2	「人」「自然」「行事」などで分類してグループを作り、討論会の準備をし、見通しをもった上で材料の吟味、取捨選択についてグループごとに話し合う。	〔思考・判断・表現〕① 〔主体的に学習に取り組む態度〕①	ワークシート 振り返り(ノート)
3	予想される質問や反論についてグループで話し合いながら、発表メモを作るとともに、他グループの提案について質問や反論をグループで話し合う。	〔思考・判断・表現〕② 〔主体的に学習に取り組む態度〕①	発言・発表・ワークシート 振り返り(ノート)
4	交代で司会者、提案者の役割を決めて討論会を行い、自分や相手の主張の明確さ、より納得させるための話の構成について振り返る。	〔知識・技能〕① 〔思考・判断・表現〕②	ワークシート

生徒の姿(授業後の振り返り)

「アイデアに対する課題を解決するための意見を考えることが難しかった」



「空き家を利用するという〇〇さんの意見が参考になった」



「地元の人にとって、観光客にとって、という両方の考え方で〇〇さんが意見を言っているのが参考になりました」



成果

- 見取り方例シートは「主体的に学習に取り組む態度」を適切に見取るための参考例として有効に活用できる。
- シートによって教師が単元を構想したり、単元を見通したり、評価につなげたりすることができる。

課題

- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価に当たっては、生徒の姿を見取ることも重要なので、振り返りだけで判断できない場合もある。
- 記述を苦手とする生徒への支援方法を、更に考慮していく必要がある。

提言

教師がシートを継続的に活用することで「主体的に学習に取り組む態度」を見取ること慣れ、評価への不安感が解消されると考えられる。また、指導事項を確認して学習計画等を練ったり指導案を作成したりする際に有効に活用できる。見取り方例シートは中学校第2学年の内容で作成したが、他学年での活用も期待したい。